

# MFSブルーデント・ファンド（米ドル売り円買い）

追加型投信／内外／資産複合

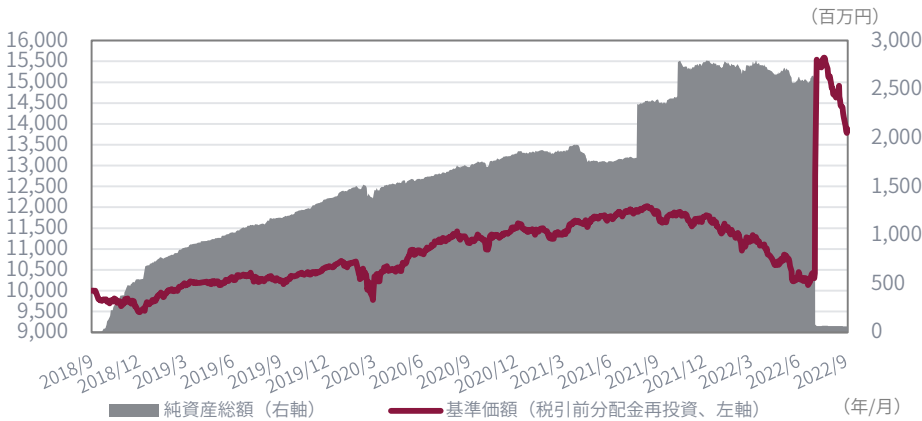
基準日:2022年9月30日

基準価額（1万口当たり）  
13,843円

純資産総額  
62百万円

設定日：2018年9月26日  
信託期間：無期限  
決算日：6月15日(休業日の場合は翌営業日)

## 運用実績および純資産の推移



## 期間収益率

期間	ファンド
設定来	38.43%
3年	35.29%
1年	18.20%
6ヵ月	22.69%
3ヵ月	34.52%
1ヵ月	-6.88%

## 分配金推移

決算期	分配金
第4期(2022/6)	0円
第3期(2021/6)	0円
第2期(2020/6)	0円
設定来累計	0円

※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

※基準価額（税引前分配金再投資）は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。

※期間収益率は、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものであることにご留意ください。また期間収益率は、実際の投資家利回りと異なります。

※分配金は、過去の実績であり将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の払戻しに相当する場合があります。購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## 資産構成比率

資産	比率
MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド（ZH1円シェア・クラス）	103.3%
FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）	0.0%
現金等	-3.3%
合計	100.0%

※比率は、純資産総額に対する各資産評価額の比率です。

## 市場動向・ファンドの状況

9月のグローバル株式市場は、月前半に、利上げ観測を背景に金融株主導で一時上昇しましたが、月半ば以降は、米消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を上回るなどインフレが収まらず、主要中央銀行の一段の利上げが世界的な景気後退を招くとの懸念から下落基調となり、前月末を下回る水準で終わりました。日本は、欧米中央銀行の金融政策や英減税策、ロシアのウクライナ侵攻など世界経済の先行き不透明感から海外に連れ安となりました。

当ファンドでは、運用の基本方針にしたがいMFSメリディアン・ファンズ・ブルーデント・キャピタル・ファンドの組入れを高位に維持しました。当該ファンドの資産の状況については2ページをご覧ください。

当資料の5ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

MFSインベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

# MFSブルーデント・ファンド（米ドル売り円買い）

追加型投信／内外／資産複合

基準日:2022年9月30日

MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンドの資産状況（作成基準日の前月末時点）

資産別構成比		業種別構成比		地域・国別構成比	
資産	比率	業種	比率	地域・国	比率
株式	56.4%	株式	56.4%	北米	40.9%
株式指数デリバティブ	-13.6%	一般消費財・サービス	1.9%	アメリカ	40.9%
社債	11.6%	生活必需品	5.4%	カナダ	0.0%
現金、国債、その他	45.6%	金融	2.5%	欧州	26.3%
合計	100.0%	資本財・サービス	7.5%	ドイツ	7.6%
		情報技術	14.9%	イギリス	2.2%
		不動産	7.5%	フランス	4.3%
		コミュニケーション・サービス	11.2%	スペイン	3.2%
		素材	3.3%	スイス	2.1%
		公益事業	2.2%	オランダ	3.6%
		株式指数デリバティブ	-13.6%	アイルランド	2.0%
		債券	39.8%	ギリシャ	0.5%
		米国国債	28.2%	イタリア	0.9%
		社債	11.6%	日本	10.2%
		現金、その他	17.4%	アジアパシフィック（除く日本）	1.7%
				韓国	1.3%
				中国	0.4%
				その他	3.4%
				イスラエル	2.5%
				ペルー	0.4%
				ケイマン諸島	0.5%
				現金、その他	17.4%
通貨別構成比					
通貨	比率				
アメリカドル	64.5%				
ユーロ	20.2%				
日本円	10.3%				
スイスフラン	2.1%				
イギリスポンド	1.7%				
その他	1.3%				
米ドル売り円買い為替比率	104.2%				

組入上位銘柄（株式） ※デリバティブ取引を除く		組入上位銘柄（社債） ※デリバティブ取引を除く	
銘柄名	比率	銘柄名	比率
Alphabet Inc Class A	3.9%	WMG Acquisition Corp 144A 3.875% JUL 15 30	0.7%
LEG Immobilien SE	3.2%	HUB International Ltd 144A 7% MAY 01 26	0.6%
Check Point Software Technologies Ltd	2.5%	Match Group Holdings II LLC 144A 4.625% JUN 01 28	0.6%
Iberdrola SA	2.2%	IAA Inc 144A 5.5% JUN 15 27	0.6%
Vonovia SE	2.0%	Teleflex Inc 4.625% NOV 15 27	0.5%
組入銘柄数（株式）：41		組入銘柄数（社債）：32	

※資産別構成比、業種別構成比、地域・国別構成比、組入上位銘柄の比率は、主要投資対象であるMFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンドにおける構成比率を実質エクスポージャーを用いて計測したものです。実質エクスポージャーは、直接的、またはデリバティブ取引を通じて間接的に保有する資産の価格変動により影響を受けるファンドの価値変動の推定に基づき計測されたものであり、市場時価とは異なる場合があります。※デリバティブ取引の利用により、売り建て（比率がマイナス）のポジションが生じる場合があります。なお、売り建てのポジションは、買い建て（比率がプラス）のポジションと異なり、原資産の価格が上昇すると価値が毀損されます。※通貨別構成比には、現金等が含まれます。また、シェアクラスを特定した為替予約取引は含まれません。※米ドル売り円買い為替比率は、MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド（ZH1円シェア・クラス）の純資産総額に対する比率です。※資産別構成比の「現金、国債、その他」、業種別構成比および地域・国別構成比の「現金、その他」には、為替予約等が含まれる場合があります。※資産別構成比および業種別構成比の「株式」、組入銘柄数（株式）には、上場投資信託（ETF）および個別株のオプション取引が含まれる場合があります。

当資料の5ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

## MFSインベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

# MFSブルーデント・ファンド（米ドル売り円買い）

追加型投信／内外／資産複合

基準日:2022年9月30日

## ファンドの特色

1. 主として、MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド（以下、主要投資対象ファンドという場合があります。）の円建ての外国投資証券（ZH1円シェア・クラス）への投資を通じて、日本を含む世界の株式および債券ならびに現金（同等物を含みます。）に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
2. 原則として、主要投資対象ファンドへの投資比率を高位に維持します。

### <主要投資対象ファンドの運用の概要>

日本を含む世界の株式および債券への投資を通じて、資産の長期的な成長を目指します。

各アセットクラスへの配分比率は、目安として、株式を50%~90%程度、社債等を10%~30%程度とします。また、ポートフォリオ全体の価格下落リスクを軽減するため、あるいは市場環境や魅力的な投資機会が乏しいと考える場合は、ポートフォリオの40%程度まで現金等を保有する場合があります。

ZH1円シェア・クラスは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額を米ドル換算した額とほぼ同額の米ドル売り円買いの為替取引を行います。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- ・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・投資信託は預貯金とは異なります。
- ・信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ファンドは金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

### 価格変動リスク

- ・株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

### 信用リスク

- ・組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

### 為替変動リスク

- ・ファンドが投資する「MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド（ZH1円シェア・クラス）」においては、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額を米ドル換算した額とほぼ同額の米ドル売り円買いの為替取引を行います。したがって、保有する実質的な外貨建資産について対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行わないため、為替変動の影響を受けます。例えば、当該クラスが実質的に米ドル以外の通貨建資産を保有している場合には、当該通貨に対する円の為替変動の影響を受けます。また、実質的な外貨建資産にかかる通貨に対する円高と、米ドルに対する円安が同時に進行した場合等には、双方の為替変動の影響による二重の損失が発生する場合があります。なお、円金利が米ドルの金利より低い場合、為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）がかかるため、基準価額の変動要因となります。為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

### カントリーリスク

- ・主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

当資料の5ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

**MFSインベストメント・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

# MFSプルードント・ファンド（米ドル売り円買い）

基準日:2022年9月30日

追加型投信／内外／資産複合

## 手続・手数料等 お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。
購入・換金申込受付不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が主要投資対象ファンドの非営業日と同日となる場合および一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日は、購入・換金の申込みの受付は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	無期限（2018年9月26日設定）
繰上償還	主要投資対象ファンドが存続しないこととなる場合は、信託を終了します。また、次のいずれかの場合には、委託会社は事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意の上、繰上償還することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>信託財産の純資産総額が10億円を下回ることとなったとき。</li> <li>繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき。</li> <li>やむを得ない事情が発生したとき。</li> </ul>
決算日	年1回決算 6月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>配当控除の適用はありません。</li> <li>益金不算入制度は適用されません。</li> </ul>

※ご購入にあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にご確認ください。

## 手続・手数料等 ファンドの費用

### <投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	ありません。（有価証券届出書提出日現在）
信託財産留保額	ありません。

### <投資者が信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	ファンドの純資産総額に対して、年率0.913%(税抜0.83%)を乗じて得た額とします。
	投資対象とする 外国投資信託	ありません。（委託会社の報酬中から支弁します。）
	投資信託証券 国内投資信託	年率0.143%（税抜0.13%）
	実質的な負担	年率0.913%（税抜0.830%）程度 ※実質的な負担（税抜）は、ファンドの運用方針から見込まれる組入比率をもとに小数点以下第4位を四捨五入しています。 ※投資対象とする投資信託証券の組入比率の変更などにより変動します。

その他の費用・ 手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用などがファンドから支払われます。</li> <li>監査費用および法定書類の作成・印刷等費用がファンドから支払われます。ただし、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.055%（税抜0.05%）を乗じて得た金額の合計額（実際または予想される費用額の範囲内とします）を上限とします。委託会社は、信託財産の規模等を考慮して、当該料率を信託期間中に合理的な範囲内で変更することができます。</li> <li>投資対象とするMFSメリディアン・ファンズプルードント・キャピタル・ファンドにおいて、合計純資産額に対して年率0.15%を上限とするファンド管理費用がかかります。</li> </ul>
----------------	--

※受益者が負担する手数料などの合計額やその計算方法については、保有期間や運用の状況などに応じて異なるため、あらかじめ表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 税金

分配時の普通分配金、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して、所得税および地方税がかかります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料の5ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

**MFSインベストメント・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

# MFSプルードント・ファンド（米ドル売り円買い）

追加型投信／内外／資産複合

基準日:2022年9月30日

## 販売会社一覧

商号	登録番号等	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

■本資料は、情報提供を目的としてMFSインベストメント・マネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。）ので、市場における価格の変動等により基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資により生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。■投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しましたが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料のデータ、分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の投資成果や市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、本資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合には、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容が優先します。■本資料に記載された投資信託はすべての投資家の皆様に適合するとは限りません。投資信託の取得申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）等の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料に基づいてとられた投資行動の結果については、当社および当社グループは一切責任を負いません。

MFSインベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会